

# BCG 懸濁液の作り方

## ▶ 包装内容

写真提供 公益財団法人結核予防会



BCG ワクチンの製品箱にはワクチンの他に接種に必要な器具が入っています。



ワクチンアンプルには凍結乾燥された BCG ワクチンが入っています。

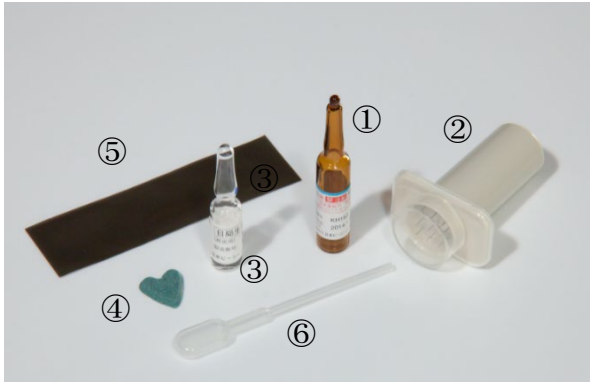


ワクチン懸濁用に生理食塩液アンプルが添付されています。



管針は滅菌されており、開封後すぐに使用できるディスクポ  
ーザブルタイプです。

9本の細い針が直径2cmのプラスチック製円筒に固定さ  
れ、針先は円筒の縁とほぼ同じ高さになっています。

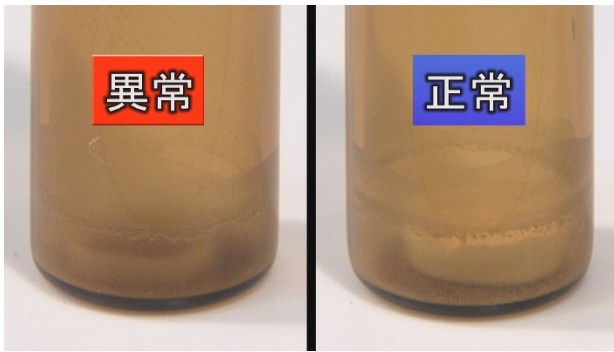


その他、アンプルカット、スポイト、ポリ袋が用意されて  
います。

### BCG 接種に使われるワクチンと器具 (1人用)

- ① ワクチンアンプル
- ② 経皮接種用管針 (ディスクポータブル)
- ③ 生理食塩液アンプル
- ④ アンプルカット
- ⑤ ポリ袋
- ⑥ スポイト

## ▶ 懸濁方法



ワクチンアンプル内の BCG ワクチンの乾燥体に異常がないかを確認します。

万一、乾燥体が吸湿していたりアメ色になっている等、異常が認められた場合は使用しないでください。

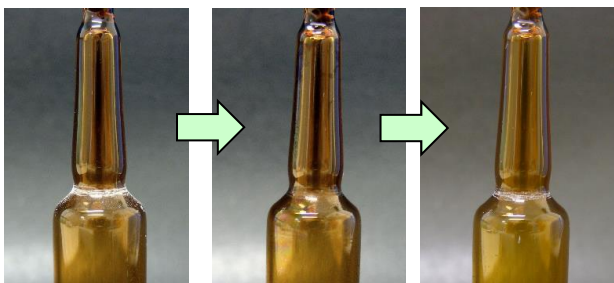


アンプルの頸部にアンプルカットの凹部の鋭角部をあて、全周にキズをつけます。



アルコール綿で拭き、乾燥させます。

乾燥させずにアンプルを開口するとアルコールがアンプル内に混入し、均一な懸濁液ができなくなります。



アルコールの乾燥の状態はアンプル頸部のキズを目安とすることができます。

キズを付けた直後

清拭した直後

- ・ キズが濡れて見えにくくなる

乾燥した状態

- ・ キズが白く見えるようになる



懸濁用の生理食塩液のアンプルの頸部をアルコール綿で拭きます。



アルコールが乾燥したことを確認し、添付のポリ袋でワクチンアンプルを包み、ポリ袋をねじって袋の空気を抜いた後、アンプルの頸部を折ります。

この操作によって真空のアンプル内への空気の急激な流入を防ぎます。



生理食塩液のアンプル（ワンポイントカットアンプル）を開口します。



添付のスロイトで生理食塩液を全量吸い上げます。



吸い上げた生理食塩液をワクチンアンプルの内壁に沿って全量をゆっくり注入します。



生理食塩液注入後 2～3 分そのまま静かに置き、乾燥体が十分に湿っていることを確認します。

\*アンプルが入っていたプラスチック製のケースはアンプルを立てるトレーとして使えます。



泡立ないようにアンプルを静かに振って均等な BCG 懸濁液を作ります。

これで 80mg/mL の濃度のワクチン液が出来上がります。



## ▶懸濁後にダマが残る場合

乾燥体が崩れていたり、勢いよく生理食塩液を注入するとダマが残ることがあります。静置時間を長くすることで懸濁することができます。

### ●乾燥体が崩れている



乾燥体の一部が粉状になったり、割れたりすることがあります。

### ●勢いよく生理食塩液を注入



生理食塩液を勢いよく注入すると、アンプルの管壁に乾燥体が付着することがあります。

このような状態では生理食塩液が乾燥体に浸み込みにくくなります。乾燥体に十分に生理食塩液が浸み込む前に攪拌操作を行うと、その部分がダマとなって残ります。静置時間を長くして、懸濁操作を行えば懸濁することができます。



静置時間を長くしても懸濁できない場合、アンプル開口時にアルコールが混入した可能性があります。アルコール綿での清拭後の乾燥が不十分な場合やアルコール綿を巻き付けて開口するとアルコールが混入します。

### ●乾燥が不十分



アルコール綿で清拭後、アルコールが乾燥する前に開口するとアルコールが混入します。

### ●アルコール綿を巻き付けて開口



アルコール綿を巻き付けた状態で開口するとアルコールが混入します。

アルコールが極少量でも混入すると静置時間を長くしても懸濁することはできません。粒状のBCGが残ってしまいます。このような場合は使用できません。

